



## 【祝福される幸いな家庭への十戒⑦】

(結婚の誓約を命ある限り守る家庭)

説教者: 鄭南哲牧師

本日聖書本文: 出エジプト記20章14節・マラキ書2章14-16節

(Rev. Jung nam-chul)

(暗唱聖句: マタイの福音書5章27-28節)

愛するクリスマンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！一週間もみんなお元気でしたか。一週間みなさんの体と心が主の平安のうちに守られますように、また新しい8月のみなさんのご家庭と生活の営みがキリストイエスにあって祝福され、恵まれますように切にお祈り申し上げます。コロナの影響により、今週みんな特別なお盆休みとなると思いますが、是非神の平安と御守りの中で、心身共に良き休息と再充電の時として過ごせますように切にお祈り申し上げます。アーメン！

今年はコロナで海外ほとんどどこにも行けませんが、本来日本人が一番行きたがっている国の10位以内の中でハワイ含めアメリカが3つを占めているほど、強国アメリカに対するよく憧れも持っていると思いますが、こんな統計があります。アメリカで1日中起こっている事の統計です。結婚するカップル一日5962、一日の離婚するカップルは1986、殺人事件は毎27分ごとに、強盗事件は毎78秒ごとに、窃盗は毎10秒ごとに、車紛失は毎33秒ごとに、強姦事件は毎8分ごとに、10代女性一日2740人が妊娠しているという衝撃的な統計でした。各社会の文化が崩壊される直前、その最後の段階には典型的な人々の共通の行動のパターン11類型(るいけ)が現れます。その中では離婚の急増、子どもの人口減少(げんしょう)、親を蔑視(べっし)・結婚式の意味の退潮(たいちょう)、姦淫禁止の廃止(はいし)、青少年の犯罪急増(きゅうぞう)、各種性倒錯の一般化、家族関係崩壊などですが、大体全部家庭と関係が直結されている事が分かります。

ところが、数年前、アメリカのタイムジという雑誌にアメリカで一番性的満足度が高い集団を研究した結果、一番高い順位を記録したグループが福音的な教会に通っているクリスマンの夫婦たちだという結果発表に、アメリカ社会は意外だという反応を表しました。しかし、これは当然な結果ではありませんか。神様の御言葉に従っている夫婦は幸せにならざるを得ません。聖書に基づき、徹底的に守り行なう家庭こそ、神に祝福され夫婦家族が幸いな家庭になれるのは当然な結果ではありませんか。今日は我々の家庭がさらに守られ祝福されて行く為の十戒の7回目の御言葉の時間です。

## &lt;1. 神様が忌み嫌われる姦淫&gt;

今日の本文でマラキ預言者は結婚と言うのは一人の男性と一人の女性が神様の御前で誓約(Covenant、約束)することだと教えています(マラキ書2章14節-「なぜなのか」とあなたがたは言う。それは主が、あなたとあなたの若い時の妻との証人であり、あなたがその妻を裏切ったからだ。彼女はあなたの伴侶であり、あなたの契約(covenant)の妻であるのに。」)箴言2章17節(「この女は若いころの連れ合いを捨てて、自分の神との契約を忘れてる。」)を見ると、姦淫はこの契約を忘れ、やぶる罪だと教えます。マラキ預言者は姦淫による離婚と虐待を神様が憎むのだと言っています。(マラキ書2章16節「妻を憎んでするなら、イスラエルの神、主は言われる。あなたがたは、暴虐がその者の衣をおおう。万軍の主は言われる。」あなたがたは、自分の霊に注意せよ。裏切ってはならない。)

みなさんもお存知のように姦淫は一切の性的犯罪に使われる単語でもありますが、特に聖書では既婚者(夫がいる妻、妻がいる夫)の性的逸脱(いつだつ)、罪を意味する単語として大体使われます。旧約聖書によると、ほかの犯罪よりもこの姦淫の罪に対して神様とイスラエルの民たちは厳重な罰を行いました。なぜなら多くの場合、死刑にされたからです。申命記2章22節よると、「夫のある女と寝ている男が見つかった場合は、その女と寝ていた男もその女も、二人とも死ななければならない。こうして、あなたはイスラエルの中からその悪い者を除く去りなさい。」と言われました。

私たちが生きているこの時代が旧約時代でないことはどれだけ感謝なことでしょう。

この神様の戒めがそのまま適用されるのであれば、どれだけ多くの死刑囚たちが次々と死刑の台にあがるでしょう。

しかし、神様はこの姦淫と言う罪をなぜこれほど深刻な罪として扱われたのでしょうか。

その理由はこの罪は自分を破壊し(第一コリント6:18-20)、幸福な結婚生活(家庭)を破壊(ヘブル13:4)し、さらに社会

を破壊するから(創世記19章・申命記22章22節)です。それにもかかわらず、こんにちには夫婦関係が、家庭が姦淫と浮気によって多くの家庭がくずされかけています。この時代に十戒のこの七回目の戒めである、“姦淫してはならない!”という神の戒めをどのように取り組んで、我々の家庭を守って行くことができるのでしょうか。

## <2. 結婚-ロマンス以上の神の前での誓約(Covenant)と約束>

愛するみなさんは結婚の時、誓った誓約の内容を今も覚えていらっしゃいますか。伝統的に長らくキリスト教式の結婚式においての結婚誓約文はこのような文章でした。新郎に対して、「( )兄弟、あなたは今、この女の方と結婚し、妻としようとしています。あなたは、この結婚が神の御旨によるものであることを確信しますか。あなたは神の教えに従って、夫としての分を果し、常に妻を愛し、敬い、慰め、助けて変ることなく、その健康の時も、痛い時も、富める時も、貧しい時も、いのちの日の限りあなたの妻に対して堅く節操(せつそう)を守る事を約束しますか。(答:新郎-神とひとの前で約束致します。(神とひとの前で誓約致します))」

新婦にたしても、「( )姉妹、あなたは今、この男の方と結婚し、この方の妻となろうとしています。あなたは、この結婚が神の御旨によるものであることを確信しますか。あなたは神の教えに従って、妻としての分を果し、常に夫を愛し、敬い、慰め、助けて変ることなく、その健康の時も、痛い時も、富める時も、貧しい時も、いのちの日の限りあなたの夫に対して堅く節操を守る事を約束しますか。(答:新郎-神と証人の前で約束致します。(神とひとの前で誓約致します))」と誓い、誓約の印として変わらない永遠の愛を意味する指輪を交換したのです。今もみなさんは結婚式の時のこの誓約と約束を守って来ているでしょうか。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！結婚は契(ちぎ)りであり、誓約(Covenant)です。契約(Contract)と誓約(Covenant)は似てる言葉ですが、相当違います。契約(Contract)は不信の根拠の上で自分の有益のためにやり、満了期間があり、変更も可能であるものですが、誓約(Covenant)はお互いの信頼と愛の根拠にし、相手のためであり、死がふたりを分かつまで変更できない事を前提してやるものであります。ところが今日の聖書の本文ではさらに結婚は単に一人の男と一人の女の間での誓約(契約)ではなく、神様を間にして、神様の御前での一人の男と一人の女の変わらない約束をし、その証人は本人と人たちだけではなく、神ご自身が証人となって下さると言うことであります。

マラキ書2章14節をもう一度読んでみましょうか。

“「なぜなのか」とあなたがたは言う。それは主が、あなたとあなたの若い時の妻との証人であり、あなたがその妻を裏切ったからだ。彼女はあなたの伴侶であり、あなたの契約の妻であるのに。”ここで神様が証人となられる表現に注目してください。みなさんの結婚式に証人として参加した賓客たちは時間が過ぎたらその結婚式の約束を忘れると思います。結婚した本人たちでさえかすかになっていくかも知れません。しかし、ただ一人、この結婚の制度をお造りになり、我々を結婚の場に導いてくださった神様だけは我々の結婚の誓約を忘れず、我々を注目しておられます。我々は神様の御前でのこの誓約と約束を忘れず、守るべきです。

姦淫は旧約時代のように死刑に扱われる罪にならなくなってしまいました。しかし、つねに神様の御前で配偶者との約束と同時に神様との約束を破ってしまった深刻な罪です。一対一の夫婦関係による敬虔な家庭、これは変えられない創造主神様の摂理でした。姦淫の罪は夫婦の一体となる関係をやぶることです。姦淫はもちろん絶対赦されない罪ではありません。しかし、まことの赦しを願うなら姦淫した女を赦しながら言われたイエス様のお願いが生活の中で回復されなければなりません。「イエスは言われた。「わたしもあなたにさばきを下さない。行きなさい。これからは、決して罪を犯してはなりません。」(ヨハネの福音書8章11節)

罪を悔い改めたといいながらまだ罪を犯しているならそれはまだ赦されたものではありません。まことに悔い改めて、赦されたいなら神様と配偶者に罪を告白し、完全に断ち切った後、自分を倒したその罪から離れなければなりません。

## <3. 姦淫に対するクリスチャンの相応しい姿勢:① 絶えず自分の体を打ちたたいて従わせる練習をする事>

新約聖書でイエスキリストは姦淫についてこう教えて下さっています。

**“『姦淫してはならない。』と言われたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも情欲をいだいて女を見る者は、すでに心の中で姦淫を犯したのです。”(マタイの福音書5章27-28節)**

イエスキリストは結婚した男、女、つまり、夫がある妻が、妻がいる夫が実際に姦淫するだけではなく、心の中でそのような女に、男に対する淫欲を持つ事だけでもすでに姦淫を犯したと見なしていらっしゃいます。どういう意味でしょうか。人の行為、行いの根になる心が大切であり、実はその始まりであることを指摘して下さいではないでしょうか。イエス様は人の目、心、そして行いが繋がり、関係ある事を指摘しています。いつの間にか人の目にまず慣れた後、心がついて行く、そのうちに心は行動に移す事になるのではないのでしょうか。もちろん、心の問題ですが、人の心は何もないことで動かされませんよね。何かを見たり、聞いたり、触ったりする感覚的なことによく心が動かされるでしょう。なので、どれほどインターネット、映像、テレビ、映画、スマホ、絵など視覚的に性的な淫乱なものが溢れているのでしょうか。間違いなく、我々が淫乱な物に多く露出(ろしゅつ)すればするほど淫乱な考えをさらに多くすることになり、そうなればなるほど淫乱な行為に陥る可能性がより高くなるのは当然な結果ではないのでしょうか。

それでイエス様が教えて下さった方法は何でしたか。続けて**マタイの福音書5章29節**を見て見ましょう。

**「もし、右の目が、あなたをつまづかせるなら、えぐり出して、すててしまいなさい。からだの一部を失っても、からだ全体ゲヘナに投げ込まれるよりは、良いからです。」**

3世紀アフリカのアレクサンドリアというところにオリゲネス(Origenes,185-254)という聖書学者は、徹底的な禁欲を実践したため、自分の性器を切断した事がありますが、愛するみなさん、イエスキリストはこのような事を望んでそうおっしゃったのでしょうか。神の御子なるイエスキリストの御言葉を我々は軽く扱います事は決してできませんが、それにも聖書のこの文字通りにも従えないのではないのでしょうか。

そしたら、どうすれば良いのでしょうか。主は我々に何を望んでおられるのでしょうか。

これはイギリスのジョン・ストット(John Stott)先生の解説のように、「目に誘惑が来たら、目が取り除かれた者のように、もう自分はこれ以上それを見れなくなった者のようにしなさいという意味であり、手や足が誘惑の場所に行こうとしたら、もう自分は手と足がない者見たいに、もう自分では決してそこには行けない者になっているように決断して行いなさい。」という意味であります。

使徒パウロはこう告白しています。「私は自分のからだを打ちたたいて服従させます。ほかの人に宣べ伝えておきながら、自分自身が失格者にならないようにするためです。」(第一コロント人への手紙9章27節)

つまり、「自分の体を打ちたたいて従わせる練習(モルティピカチオ(mortificatio))」をすることです。

**我らはみんな同じく、一生自分は絶対大丈夫と勇断しないで、自分の心と体が淫乱の道具にならないように、つねに、淫乱や誘惑の声になれて反応してしまうのではなく、神の御声に敏感になって、神が喜ばれる事をすぐ従い、神が忌み嫌われることに一切触れず、近づけないようにする信仰の訓練です。そうするためには、常に、神の御声を聴き、すぐ慣れて行かなければなりません！**

## <②性的な誘惑からとにかく避けるべきです。>

第7回目の戒めを守り、家庭を守る二つ目の原則は性的な誘惑になる機会から避けなければなりません。

ここで自分は絶対大丈夫だと自信を持っている方いらっしゃいますか。もしいるとしたら、その方的人格を決して無視する意味ではなく、人間の限界と弱さを知っているため、それは神の前で高慢だと言えらると思います。なぜなら、聖書では性的誘惑からの警戒を教えるたびにかならず戦いつつ勝利しなさいと書かれずにずっと「避けなさい」で一貫しているからです。

“不品行を避けなさい。”、“若い時の情欲を避けなさい。”と教えています。

おそらくこの御言葉の一番の模範的な人はヨセフだと思います。聖書は働いていた家の主人ポティファルの妻が毎日のように言い寄る状況の中でヨセフの態度を**創世記39章10節**にこう記しています。

「彼女は毎日ヨセフに言い寄ったが、彼は、聞き入れず、彼女のそばに寝ることも、いっしょにいることもしなかった。」ここで大切な彼の行動はなんでしたか。「いっしょにいることもしなかった。」です。

しかし、この女はしつこく誘惑してきます。ヨセフはどうしましたか。聖書はヨセフが上着をおいて“逃げた”と記録しています。

**第一コリント人への手紙6章18節**では、「不品行を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のものです。しかし、不品行を行う者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。」

箴言の記者の警告を聞いてみてください。**箴言6章27-29節**です。「人が火をふところにかき込んだら、その衣服が焼けないだろうか。もし人が、燃えている炭火(すみび)の上を歩いたら、その足は焼けないだろうか。隣人の妻と姦淫する者は、これと同じこと。その女に触れる者はだれも罰を免(まぬか)れない。」

淫乱、姦淫の罪は、燃えている炭火のようものなので、最初はその小さな火種で少しも日焼けにもならないと思って手出してしまうと、後、みなさんのご自分の家のすべてを燃やしてしまい何も残らなくなるようにさせますから、いつも身を避けなければなりません。今の時代は性的欲望を健全ではない方法で刺激する機会にさらされています。インターネットポルノ、不健全なチャティング、ケーブルTVの淫乱な映画、Eメールやケイタイからの淫乱な広告、非正常なコンパの場、などこれらのすべてから気をつけ、できれば避けなければなりません。

詩篇の記者はこう語っています。「幸いなことよ。悪者のはかりごとによらず、罪人の道に立たず、あざける者の座に着かなかった、その人。」(詩篇1篇1節)性的な誘惑において一瞬もすきまを与えてはなりません。そして決して油断してはなりません。一度だけで、この程度ではいくらでも自分でコントロールできるから、もう少し楽しんで、そのうちにやめればよい。。しかし、愛する信仰の家族のみなさん！今断ち切らなければ、結局、みなさんの大切な家庭、家族が焼き尽くされた後に、後悔の涙を流すことになると聖書は教えて下さっているのです。これがまさに淫乱の罪はその後の悲惨な結果を見せません。火のような破壊力を持っているものであることを一生決して忘れないように注意し、警戒しましょう。

### <③日々供給されるべき夫婦の愛の燃料>

誘惑の機会を避けるとか姦淫の罪を警戒するといって夫婦の間まで性的に避けなさいということは決してありません。

むしろ、その反対に夫婦の間にはもっと積極的にするべきです。夫婦が性的な満足を深く経験すればするほど、浮気の誘惑から家庭を守ると同時に夫婦に与えて下さった神の祝福をさらに味わえる事が出来るでしょう。**コリント人への手紙第一7章2-3節**をみてください。「みだらな行い(不品行)を避けるため、男はそれぞれ自分の妻を持ち、女もそれぞれ自分の夫を持ちなさい。夫は自分の妻に対して義務を果たし、同様に妻も自分の夫に対して義務を果たしなさい。」

ここで義務と言うのはいうようもなく性的な義務であり、夫婦関係の義務です。妻なる姉妹たちのみなさん！是非忘れないで下さい。いくら疲れても、いくら疲れてもみなさんは夫に真の愛を持って性的な欲求を満たしてあげるべき有一の合法的な存在です。みなさんの夫がみなさんを通して満足を得ず、外側に心と目をそらし始めているなら、夫の淫らな行為に妻としての義務を果たしてなかったみなさんにも責任がないと言えるでしょうか。立場をかえても同じです。夫なる兄弟たちのみなさん！よく聞いてください。みなさんのいくら仕事が忙しくても、いくらストレスが多くて機嫌が悪いとしても、妻の性的な欲求を真の愛を持って満たしてあげるべき有一の合法的対象です。もし、みなさんの妻が満足を得ず、それで心と目を外にそらしてしまうなら、皆さんは妻の淫らな行為に夫であるみなさんの責任も重大ではありませんか。

聖書は夫婦関係の中積極的な愛を結ぶ関係をおどろくほど大胆に教えています。**箴言5章15-16節**を読んでみましょう。

「あなたの水溜(た)めから水を飲め。流れ出る水を、あなた自身の井戸から。あなたの泉を外に散らし、広場を水路にしてよいものか。」外に流れないように気をつけなければなりません。続けて17節の警告です。「それを自分だけのものにせよ。あなたのところにいる他人のものにするな。」夫婦の性は夫婦以外にだれとも分けてはいけません。聖書はこの警告で終わらせません。18-19節でさらに進んで、「あなたの泉を祝福されたものとし、あなたの若い時の妻と喜び樂しめ。愛らしい雌鹿(めじか)、麗(うるわ)しいかもしか。彼女の乳房(ちぶさ)がいつもあなたを潤(うるお)すように。あなたはいつも彼女の愛に

酔うがよい。」

しかしロマンスを決して性(スキンシップ)だけに限らないでください。ゲリーチャプマン博士によると、夫婦に伝わる具体的な愛の言葉(A biblical love language for husband wife)夫婦はあたたかい愛の言葉だけでも十分幸せを感じることができます。夫婦だけの一緒の忠実な時間を過ごす事、プレゼント(必要な物・願い)や必要な助け、手伝いをする事で妻や夫も愛を感じることが出来るでしょう。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！夫婦の愛は毎日賢く表現すべきであり、誠実に管理されるべきであります。ですから、どっちかがやってくれることを待たないで、互いに知恵をもって努力しなければなりません。毎日食事が必要とされるように愛の燃料も日々供給されなければなりません。本当に健康な家庭、幸せな家庭を慕い求めていますか。そしたら、これからも淫乱な時代、淫乱な誘惑に夫婦共に気をつけ、警戒し、支え合って行きましょう。これからも一生証人であられる神の御前で、結婚の誓約、結婚の純潔を命ある限り守る家庭となり、さらに幸いな夫婦と家庭を守りつつ、築き上げて行くクリスチャンプレイズチャーチの全家族となりますように主イエスキリストの御名によって祝福します。

アーメン！

(夫婦のみなさんに宿題があります！是非夫婦お互いに結婚誓約の更新を妻に、夫に誓って下さい。そして、最後に夫婦一緒にその結婚の誓約を残りの一生命のように守り行うことが出来るように祈って下さい。)

#### <結婚更新誓約文>

夫である私( )は、妻( )を、いとおいしい時だけでなく、美しい時だけでなく、そうでない時も、愛の感情が伴わない時も、私にそのような愛がないとしても、神の無条件の愛に拠り頼み、妻( )を最後まで大切に、尊重し、守り、愛する事を生きておられる神の御前で改めて厳かに誓います！

妻である私( )は、夫( )を、いとおいしい時だけでなく、尊敬できる時だけでなく、そうでない時も、愛の感情が伴わない時も、私にはそのような愛がないとしても、神の恵みと愛に拠り頼み、夫( )を最後まで立たせ、励まし、尊敬し、愛することを生きておられる神の御前で改めて厳かに誓います！

